

## 新春特別企画

# あらかわを幸せいっぱいのまちに!

荒川区では、住んでいる人たちや働いている人たちが「幸せ」だと感じることができるように、「荒川区民総幸福度 (GAH)」に関するいろいろな取り組みを行っています。今号では、区内の小学校に通う6人のジュニア記者が、日頃どんなことに「幸せ」を感じているのか、西川区長とお話しをしました。

問合せ 公益財団法人 荒川区自治総合研究所 ☎(3802) 4861



▲西川太一郎区長（写真中央上）とお話しをしました。左から、司会の第三日暮里小学校校長・伊津壽美先生、尾久第六小・山本大智くん、第七峡田小・津吹日菜さん、第七峡田小・佐藤碧人くん、尾久第六小・田中葉留香さん、第三日暮里小・松見彩音さん、第三日暮里小・宮内暁幹くん



## 荒川区民総幸福度 (GAH) って何だろう?

区では、「区政は区民を幸せにするシステム」というドメイン（事業領域）を定め、だれもが幸せを感じられるまちの実現を目指して「荒川区民総幸福度 (GAH: Gross Arakawa Happiness)」に取り組んでいます。GAHとは、区民のみなさんの「幸せ」の度合いを測るものさし（指標）のことです。区では、そのものさしを使って、みなさんが今よりも更に「幸せ」を感じられるようになるには何が必要かを把握し、よりよい区民サービスの向上に努めています。

人との関わりや助け合いといった心の豊かさが「幸せ」につながるという考えのもと、地域のみなさんと持てる力を分かち合いながら一緒にあたたかい地域社会を築いていきます。

▼スクール安全パトロール員が見守りながら、下校します



▲地域の人と取り組む防災訓練。いざという時に協力して助け合います

### みんなで作ろう! 支え合うまち